

みなさん夏の連休工事ご協力ありがとうございました。何度絞っても汗があふれてくるTシャツをまじまじと眺めながら『タダでサウナ入れるんだからありがたいね〜』とか『今日帰ってから飲むビールの味が楽しみです』とかがない！ケンタッキーフライドチキンのあのあばら骨のところをおみやげにするぞ〜！！』とか、どんな状況でも楽しんで上機嫌にキープしていただける達人作業員の方達に支えられて私も何とかかんとかやりきることができました。感謝です。

さて左の挿絵ですが、これ実は私の祖父が描いた仏画なのです。お寺の住職をしていた祖父はもう亡くなっていないのですが、50年前に描いたこの作品がたまたま物置の中から出てきたらしく、それをビデオにとって送ってもらってまじまじと家で見ていたのですがこれが実に自分の心にしみるのです。自分がなぜか『心の問題』にいつも関心があるのは実はここにルーツがあるのかなあと思ったりしています。それで、いともたつともいられなくなって夏休みを使ってその絵を実際に観てまいりました。

何の題名も注釈もないので、孫である自分の特権として勝手に解釈させてもらえば、この絵の題名は『光明』であり、釈迦がまさに菩提樹の下で悟りを得る瞬間を描いていると思います。そしてキーワードは『スジャータ』となります。『スジャータ』といえば『スジャータ スジャータ 香り広がる〜スジャータ♪』というコーヒーに入れるミルクで有名ですが、実は釈迦が厳しい修行を実践していた村に住んでいた一人の娘さんの名前なのです。そしてこのスジャータさんがこのわれわれの世界を救済に導くすごい役割を演じます。といってもたまたまだったんですが。。。

6年にわたる厳しい修行の中で釈迦の体はもうぼろぼろで限界に来ていました。苦行のみでは悟りを得ることはできないと理解した釈迦は修行を中断し、責めやつしすぎた体を引きずりやっとの思いで川にたどり着き、身を清めていました。そこにスジャータさんが通りかかり、たまたま持っていた牛乳粥を捧げました。このスジャータさんの好意によって心身ともに回復した釈迦は近くの森の大きな菩提樹の下に再び心を落ち着かせて座り、12月8日に遂に悟りを得、仏教を成就させたということです。

どうです!! スジャータさんが世界を救ったと言っても過言ではないでしょうか?これからは喫茶店でコーヒーを飲む時もスジャータさんに敬意を証して『いただきます。』と言って手を合わせましょう。

人はどうしても自分の中に自分で気に入らない部分、あるいは人より劣っている部分があると思っています。そしてそれを日々攻め続ける傾向があります。

『足りない、足りない、まだ足りない、もっと、もっと』これが頭の中をこだましています。そんな中で差し出されたほんのわずかな牛乳粥によって全身が喜び満ち溢れていく。

日常のとるに足らない些細な生活が実は一番幸せな事だと知る。

お互いの足らない所をかばいあって知る。

低レベルな自分に合わせて考えてみるとこんな心境になるのかなあ〜と思ったりする。となると、『ケンタッキーのあばら骨最高!!』なんて言って、日々の過酷な労働を楽しんでいる達人作業員達は釈迦の生まれ変わりなのではないか?

人はみな一日のどこかの場面で釈迦になっている時があるのかも知れません。

どんな状況の中でも楽しさをみだし助け合って上機嫌でいきましょう!!

私も真夏のパトロールの時には男スジャータにふんしてアクエリアスを飲ませてあげますから・・・ あ〜ん

『いらねえ〜!!』(笑い) 感謝!!

【羽原 篤史】

